



ガハテ村通信

篠山ナマステ会 事務局 〒669-2341 篠山市郡家61-1 振替口座 00930-6-29629

学校が建った直後の様子。まだ揃いの制服もなく設備も整っていませんでしたが、子供たちの目は希望の光で輝いていました。



篠山ナマステ会設立から10周年 「共に学び続ける」こと確認

これまで、そしてこれからの10年考える



現在のセティディビ小学校。子供が教育を受けられるようになっただけでなく、大人たちも自分たちの手で村をよくして行こうと意識が変わってきています。

平成十二年に「ネパールの村に学校を」の呼びかけで発足した篠山ナマステ会は、昨年で設立十周年を迎えました。当初の目標であったガハテ村でセティディビ小学校が建設された後も、学校の運営支援や日本の子供たちとの交流を行い、水道敷設事業への協力やPHD研修生をガハテ村から選抜するよう働きかけるなど村づくり・人づくりへの応援を続けてきました。

節目の年を迎えた当会は昨年秋に記念式典を開催し、これまでの十年を振り返るとともにこれから先の十年を見据え、活動方針をネパールと「共に学び続ける」ことにしました。

……御 礼……

四月二十三日に開催した総会で東日本震災の義援金を呼びかけたところ、一万二千六百十三円集まりました。篠山市社会福祉協議会を通して被災地に送ります。ありがとうございました。

交流の足跡振り返り、さらなる発展目指す

篠山ナマステ会は設立十周年を記念し平成二十二年十一月二十一日、篠山市小田中の市立チルドレンズミュージアム（チルミュー）で記念式典を開催しました。また、あわせて来場者により深くネパールを知ってもらおうと、さまざまな体験ができる「一日ネパールデー」を開催しました。

チルミューで記念式典

会場となったチルミューは昔、中学校として使われていた木造平屋建ての校舎を活用した子供の体験教育施設です。一般の方が利用される施設でありますが、管理者である有限会社エヌツーさんのご理解もあり会場の提供を受けました。

駅や市街地から離れた会場でしたので心配しましたが、会員や一般来場者ら約八十人の参加を得て無事記念式典を挙行することができました。また、篠山市長をはじめ多くのご来賓をお迎えできたことに加え、PHD協会のみなさんや研修生、さらには昨夏のネパールスタディツアーの参加者も遠く三木市、福知山市などから駆けつけていただきました。

ガハテ村から感謝楯

オープニングに関西学院大学の福田聡葉さんが作成してくれた篠山ナマステ会の十

年を振り返るスライドが上映された後、三原香奈子さんの笛による懐かしい日本の童謡演奏があり穏やかに式典が始まりました。最初に主催者を代表して杉原一三代表から十年間の振り返りと関係者への感謝の言葉が述べられました。その後ネパールから招待したビシユニユ・マニ・ネパールさん（SSSプログラム・コーディネーター）とラム・サラン・バンダリさん（セティディビ小学校教員）からあいさつがあり、篠山ナマステ会に対し感謝のメッセージが記された楯が贈られました。継続的な支援がガ



ガハテ村から送られた感謝楯を披露する杉原代表(左)

ハテ村の生活を向上させたとした二人の現地報告は、パソコンとパワーポイントを使ったとても分かりやすいものでした。

信頼あってこそ国際交流

記念講演では、PHD協会理事長の今井鎮雄さんから「これからの国際交流」と題してお話を伺いました。長年係わっていらつしやるロータリークラブの国際交流がきめ細やかな現地型に変化しつつあることに触れ、篠山ナマステ会がガハテ村への支援の中で互いの信頼関係を高めてきたこれまでの交流こそがこれからの国際交流の姿であると話されました。

式典の最後には、黒田泰子幹事よりこれからの篠山ナマステ会の活動方針が読み上げられ、参加者全員でネパール・ガハテと「共に学び続ける」関係を発展させていくことを確認しました。

一日ネパールデーで文化紹介

式典終了後、増岡シヨバナさんや女性幹事が腕をふるったネパールカレーが振る舞われました。会場内では十年間の懐かしい思い出話があちらこちらから聞こえていました。

その後、豊中から来ていただいた在日ネパリのみなさんによる歌と踊りのステージがあり、一般の方にも開放した会場は親子連れのみなさんで一杯になりました。一般参加のみなさんには、ネパール衣装体験や写真展を通してネパール文化にふれていただくことができました。

中学・高校 数学英語 **小山数学セミナー**

・参考書・問題集 多数取り揃えています。

合資会社 小山書店

兵庫県篠山市魚屋町8
TEL (079)552-0019 FAX (079)552-5515
E-mail yonda@ocean.dti2.ne.jp

大玉丹波黒大豆・丹波大納言小豆・種苗
「丹波さき山」

分 糺 小田垣商店

☎669-2323 兵庫県篠山市立町9
電話 (079)552-2369(代)
商号 金屋 FAX (079)552-5375(代)

ネパールから見た日本の課題

一日の最後に、ネパールトークとしガハテ村からの招待者であるビシュニュ・マニさんとラム・サランさん、平成二十二年度PHD研修生のウルミラ・ライ・ダワールさんとミン・クマリ・タマンさん、さらに増岡ショーバナさんの五人を囲んでこれか



ネパールトークでこれからのネパールと日本について語るパネリストのみなさん

2人の招待者からのお礼状

尊敬すべき篠山ナマステ会のみなさん、そして篠山市民のみなさん、私たちの心に残る思い出をありがとうございました。

多くの先進国の中にあつて、熟練した人的資源の効果的活用、自然の恩恵とその適切な管理等によって、日本は他国に魁けて歩みを続けています。緑豊かな森があり、清潔な環境も保たれています。

住宅供給のあり方、生活のシステム、時間を守ること、全ての日本人が持っている友好的な態度は素晴らしいものです。教育と農業の領域に於いて、政府や地方自治体、その他の個人によって提供されている諸施設は立派であり、印象に残るものでした。全ての人々、企業等諸組織、施設・団体等は日本の政府のかかわる諸規則や規律に従い活動しています。

私たちが最も忘れられないことは、「日本人が他国の人々に対して敬意をもって接する姿勢は非常に素晴らしい」ということです。私たちは、今回の日本訪問で日本の人々からいただいたご支援を決して忘れることはありません。

最後に、私たちの見解です。

「先進国たらんとする努力とは日本人のこころ誠実さを身につけることである」
ありがとうございました。

ビシュニュ・マニ・ネパール 拝
ラム・サラン・バンドリ 拝

らのネパールと日本・篠山の関係について話し合いました。

また、篠山ナマステ会のネパールスタディツアーでいつも現地通訳をお願いしているギリ・マノジさんが運よく来日中であり、トークへのご協力が頂けたため、互いの理解をより深めることができました。

「ネパールではみんな一緒に暮らしているのに、日本の高齢者は寂しい。田畑にはお年寄りしかない」など、日本の課題が的確に指摘され、これからの交流の中で私たちが学んでいかなければいけない点が明らかになりました。

終わりのない支援は疲れてしまいます。しかし、「学び」からは喜びが生まれます。支援に始まった篠山とガハテのつながり

は、十年を経て互いに成長しあえる学び合いのステージに入りました。

今年度のPHD研修生来日

ネパールからの平成二十三年度研修生、パッサン・ラマさん(二〇)とラメシユ・カジ・シユレスタさん(二六)の二人が来日しました。

パッサンさんはガハテ出身、ラメシユさんはガハテの隣村のヒングワパティ出身です。それぞれ保健衛生、保育、有機農業、住民組織化などを研修テーマに、日本各地で一年間の研修を積み重ねます。もちろん篠山での研修も計画されています。みなさんの応援をお願いします。

高い技術力があるからこそ、美しいものが仕上がります。そして、幅広くお客様のニーズにお応えします。

森本誠文舎印刷所

〒669-2211 兵庫県篠山市大沢新115
TEL. (079) 594-1151
FAX. (079) 594-2607
E-mail : msiprint@zeus.eonet.ne.jp

Techno Work

株式会社 テクノワーク

〒669-2224 兵庫県篠山市味間北864
TEL (079) 594-2625 FAX (079) 594-2725
URL : http://www.technowork.jp/

22年度PHD研修生から 感謝の葉書が届きました

平成二十二年度のPHD研修生として、ネパールから来日し、一年間篠山市をはじめ日本各地でさまざまな勉強をした、ウルミラ・ライ・ダヌワールさんとミン・クマリ・タマンさんから、帰国にあたり篠山ナマステ会に葉書が届きました。研修の内容や帰国後の抱負について、漢字も使った日本語で書かれていますので紹介します。

グループ作り研修の成果を

ウルミラ・ライ・ダヌワールさん

私は日本で一年間に保健衛生と助産の大事の勉強をしました。そして日本の社会の中になった問題、ホームレスのこと広島原爆と石炭をとったときになった問題の勉強を習いました。次は社会の中になったのいろいろな病、水俣病、ハンセン病の勉強をしました。



ウルミラさん(上)と
ミン・クマリさん(下)
からの直筆の葉書



保育研修を受けるウルミラさん(中央)

変お世話にいつも持っています。

私は村に帰って後バラトビスタさん、ピシヨさん、ミン・クマリさんと私は一生懸命グループを作って日本で習ったのことを村のみなさんに一人ためにじゃなくてみなさんの一生懸命村の問題考えてグループとBirthing center (SSS) で仕事をします。

ナマステのみなさんとPHDのみなさんのおかげで大変大事の勉強をできました。みなさんに大変ありがとございました。これからもみなさんの手伝ってほしいです。
ウルミラライ宇留美良来(ネパール)

助産師になって命守りたい

ミン・クマリ・タマンさん

ナマステ会のみなさんへ
私は日本で有機農業と保健衛生のことを勉強しました。農業では有機栽培で野菜の育ち方とか、堆肥肥料の作り方とか、キノコの種菌とシイタケの作り方を勉強しました。そして村には字を読めないお母

ナマステ会のおかげで作ったのガハテ村の小学校で村の子供たちによく勉強をできています。だから村の子供たちの将来明るいになっていきます。その村の人たち、先生たち、学生たちと私の心の中にみなさんの大

さんたちが多いので保健衛生や応急手当のことはまだ知らないのので保健衛生と応急手当のことを勉強しました。

ナマステ会の小嶋先生と山岸お母さんのおかげで篠山東雲高校で研修することができました。そこでは野菜の種まき方と学校の保健室の先生から保健のことを聞かせてもらいました。

ナマステ会とPHD協会のみなさんのおかげで日本での勉強はよくできました。特にナマステ会のみなさんがセティデイビ小学校を作ってくれて教育を受けることができ幸せでした。村の問題を見つかり日本で研修受けようというふうになったのもナマステ会のおかげです。私は保育園や幼稚園で研修したとき子供の本はともおもしろくて、簡単な言葉で覚えやすいと思いました。セティデイビ小学校の小さい子供たちのためにも小学校に小さな図書館があったらいいと思っています。



デイサービスで研修するミン・クマリさん(左から二人目)

日本で勉強したことを前の研修生たちと一緒にやってがんばります。将来はできたら助産師のことを勉強してみんなの命を大切にしたいけど村での生活が厳しいから。ナマステ会のみなさんのお手伝いをお願いしたいいなあ。..
ミン・クマリ(ネパール)